

2026(令和8)年度

# 黒潮町の一般会計当初予算は 112億9,000万円です

— 前年度比3.0%(3億5,000万円)の減額となりました —

※それぞれの数値は集計後端数処理をしているため、合計値と合わない場合があります。

## 一般会計の概要

令和8年度当初予算は黒潮町当初予算編成基本方針および黒潮町総合戦略に基づき、住民ニーズへの確に対応できるよう予算の計上を行っています。黒潮町の令和8年度一般会計当初予算は、前年度比3.0%(3億5千万円)減の112億9千万円となっています。

また他の会計と重複する給与等集中処理特別会計を除いた10の特別会計を加えた純合計は145億8千112万7千円で2.9%(4億3千783万8千円)の減となっています。一般会計の減額の主な要因は、普通建設事業費などの継続事業を中心に全体計画の見直しによる単年度支出の抑制、物件費の旅費や消耗品費、委託料の再整理によるものです。しかしながら、7年連続100億円を超える大型予算となり、後年度への財政負担を最小限とするためには、限られた財源を有効活用し、積極的な事業の展開や施策の充実を図ることと、慎重な財政運営を行うことの両方の「バランス感覚」が必要不可欠であり、実効性の高い政策は継承しながらも聖域を設けず財政改革を進めていく必要があると考えています。

将来世代へ課題や負担を残さないようにするためにも、知恵を絞って、行政サービスの質の向上と住民福祉の増進に向けて努めてまいります。

## 歳入

歳入は、町税8億3千371万円など自主財源が27億4千556万6千円、地方交付税41億7千万円など、依存財源は85億4千443万4千円を見込んでいます。

町債は14億5千300万円で、過疎対策事業債11億6千360万円、公営住宅建設事業債1億6千430万円、辺地対策事業債8千240万円などを見込んでおり、町債の活用額は公債費負担および実質公債比率の上昇抑制の観点から歳出予算総額の10%以内を目標としておりましたが、大規模建設事業費の財源確保が必要であるため、その影響を最小限に抑える判断の結果、目標数値を上回る予算計上となっております。

基金の繰入額は財政調整基金や特目基金など3億6千274万5千円を予定しており、令和8年度末の基金残高は38億5千790万1千円の見込みです。

## 歳出

歳出は、目的別では予算額の多い順に衛生費25億7千967万1千円、民生費24億4千718万円、総務費21億7千602万7千円で、上位3部門のみで全体の63.8%となっています。性質別では、義務的経費が人件費18億2千824万円、扶助費6億4千829万6千円、公債費12億1千973万円など36億9千626万6千円を計画し、投資的経費は普通建設事業費19億9千733万9千円など20億1千327万2千円を予算計上しています。

また、令和8年度末の一般会計に属する地方債現在高は98億9千847万1千円、普通会計に属する地方債現在高は98億9千939万6千円の見込みとなっています。

**特別会計**

特別会計とは、特定の事業を行う場合にその経費を明確にするために一般会計と区分して設けられた会計です。

黒潮町では、他の会計と重複する給与等集中処理特別会計を除いて10の特別会計があります。



特別会計	住宅新築資金	252万1千円
	宮川奨学資金	1,018万円
	情報センター	1億1,376万9千円
	国民健康保険	16億1,505万4千円
	国民健康保険直診	6,788万6千円
	介護保険	17億6,707万7千円
	介護サービス	2,319万5千円
	後期高齢者医療	2億8,012万4千円
	水道事業	3億815万円
	集落排水事業	4,837万9千円

**令和8年度の主な事業**

◆ **総務費**

ふるさと納税事業	4億8,570万6千円
ご当地PR及びふるさと納税支援業務委託事業	6,450万円
大方高校支援事業	1,611万4千円
地域維持活性化交付金事業	1,302万5千円
高知県電子入札共同利用導入委託事業	385万円
住宅改修促進事業費補助金事業	350万円
教育振興交流支援施設駐輪場増築工事	332万2千円

◆ **商工費**

道の駅整備事業	2,029万6千円
地域経済循環創造補助金事業	1,619万円
地場産品商社機能拡充業務委託事業	1,251万6千円
スポーツツーリズム誘客促進委託事業	577万6千円
高知ファイティングドッグス公式戦委託事業	105万1千円

◆ **民生費**

あったかふれあいセンター委託事業	9,388万円
ひとり親家庭医療費助成金事業	500万円
大方中央保育所環境整備工事	87万9千円

◆ **土木費**

町営住宅整備事業	2億9,410万7千円
土佐西南大規模公園県工事負担金事業	1,542万8千円
地域整備事業	1,500万円
大規模盛土造成地二次スクリーニング計画策定事業	1,300万円
県道路整備工事等負担金事業	1,072万5千円

◆ **衛生費**

衛生センター長寿命化事業	10億4,518万9千円
新工エネルギー会社補助金	5億2,864万1千円
太陽光発電設備設置補助金事業	1億3,352万5千円
省エネ家電設置補助金事業	6,757万2千円
蓄電池等設置補助金事業	2,000万円
医療費助成事業	1,764万円

◆ **消防費**

木造住宅耐震改修事業	1億1,273万5千円
ブロック塀対策事業	300万円
地区防災計画作成共同研究委託事業	254万8千円
家具転倒防止対策事業	90万円

◆ **農林水産業費**

園芸用ハウス整備事業費補助金	1,860万円
新たな森林管理システム調査事業	1,783万1千円
佐賀地区漁業集落環境整備事業	1,700万円
水田農業機械導入支援事業	1,400万円
四万十市新食肉センター整備費負担金事業	550万7千円

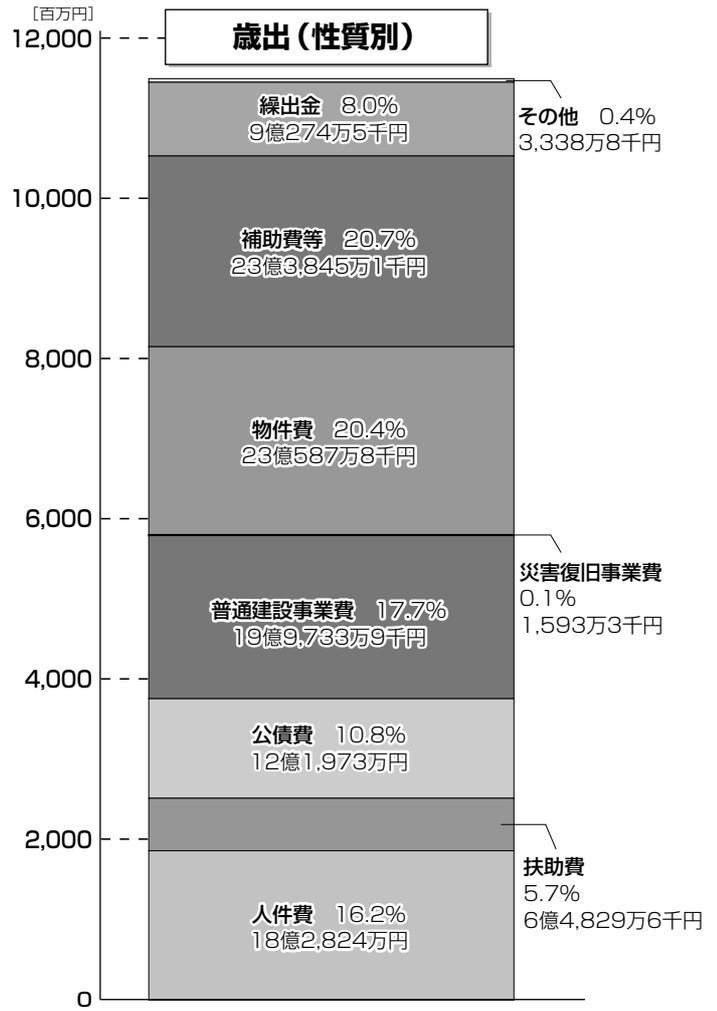
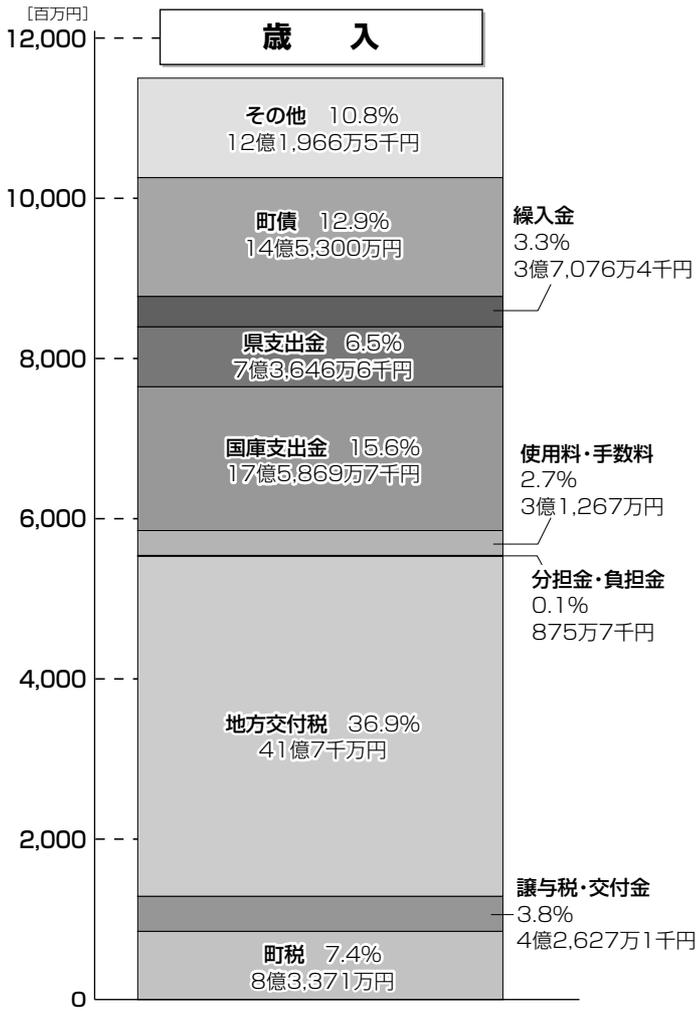
◆ **教育費**

放課後子ども教室委託事業	2,390万1千円
給食センター長寿命化事業	715万円

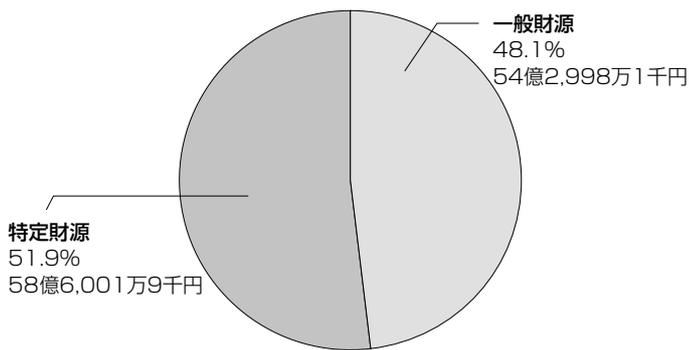
◆ **災害復旧費**

公共土木施設災害復旧事業	1,050万円
農業用施設災害復旧工事	300万円

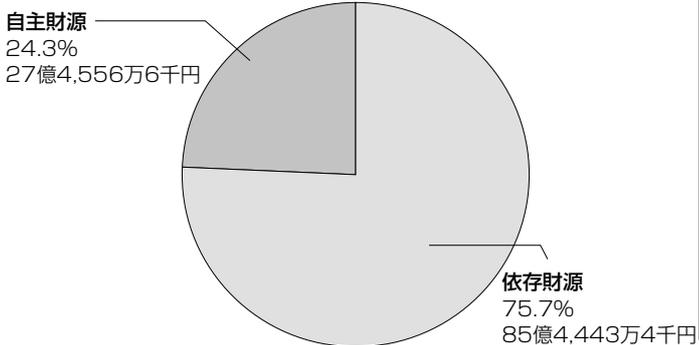
# 令和8年度一般会計当初予算の内訳



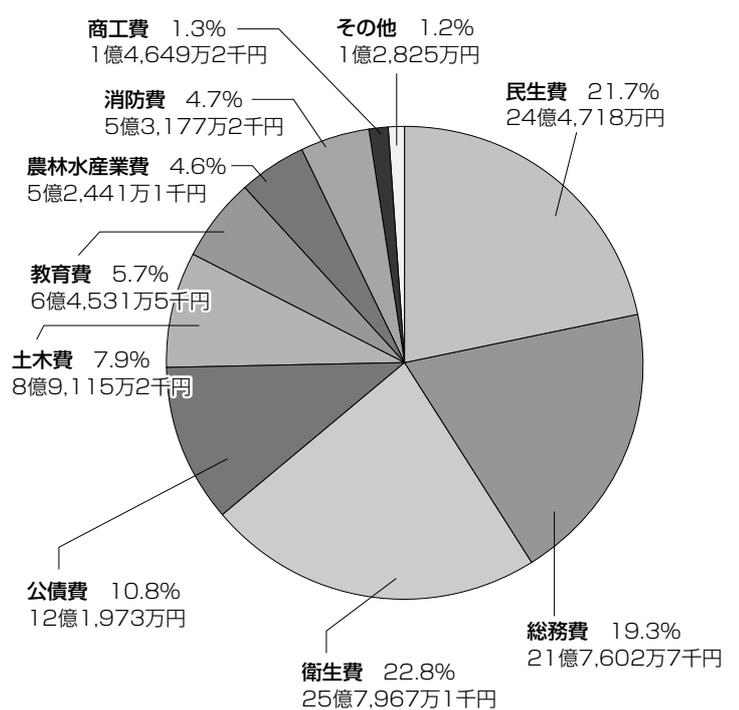
### 歳入 特定財源・一般財源の別



### 歳入 依存財源・自主財源の別



### 歳出(目的別)



## 総務費

**225,542円**

庁舎の維持管理、財政、地籍調査、選挙、人事、企画、税や戸籍に関する事務など、一般的な事務。



令和8年度当初予算のうち、一般会計において町民1人当たりに使われるお金は次のようになります。

当初予算÷人口=町民1人当たり…

**1,170,191円**

※令和7年12月31日現在の人口(9,648人)で算出



町民1人当たりの  
予算の使い道



## 農林水産業費

**66,886円**

農林漁業の推進や、新規就農者・漁業者推進にかかる経費です。ほかにも農道整備、漁港整備に使われています。



## 衛生費

**267,379円**

し尿処理などの環境保全、健康増進への取組、予防接種などの疾病予防にかかる経費です。



## 民生費

**253,646円**

高齢者や体に不自由がある人に対して、福祉の充実に使われる経費です。また、子育て支援などにも使われます。



## 消防費

**55,117円**

防災無線・消防設備・消防団にかかる防災経費や、災害対策にかかる経費です。



## 土木費

**92,367円**

道路・河川・橋の整備や点検など、地域のインフラ整備にかかる経費です。



## 商工費

**15,184円**

観光やスポーツツーリズムの推進、地域の商工業推進にかかる経費です。



## その他

**13,293円**

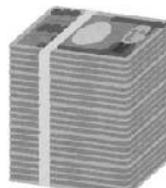
議会の運営経費や、災害復旧費にかかる経費などです。



## 公債費

**126,423円**

町が借りたお金を支払うために使われる経費です。



## 教育費

**54,354円**

小中学校の運営や、人権教育の推進、生涯学習活動にかかる経費です。

